

## プレスリリース

### 「今」、実物史料から憲法を考える

#### 國學院大學博物館で開催中の「明治国家と法制官僚」展が好評

#### 「明治憲法」の草案などから憲法について考える

國學院大學（渋谷区東 4-10-28）では、古典籍を中心とする展示会「明治国家と法制官僚 ―井上毅歿後 120 年記念―國學院大學学びへの誘い」を 8 月 7 日（金）に國學院大學博物館（渋谷区）で開催中です。

今回は、明治日本の法制官僚を代表する井上毅（写真）がのこした文書などを集めた「梧陰文庫」の史料を中心に、井上毅の事績を日本の近代化にともに尽くした人々との交流に着目して紹介し、明治国家の建設にかけた当時の人々の想いに迫ります。

とくに日本帝国憲法の起草に携わった伊藤博文・井上毅・金子堅太郎らによる憲法の草案やそれらにたいする意見をまとめた「逐条意見」など明治国家と憲法を作り上げた先人たちの努力の刻んだ資料には、来館者から「戦後 70 年や安保法制のなかでゆれる憲法について見つめなおすよい機会」との感想も得ています。

会期：8 月 7 日（金） ※7 月 27 日（月）と 8 月 3 日（月）は休館

開館時間：午前 10 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで） 入場無料

会場：國學院大學博物館（渋谷区東四丁目 10-28）

主な展示資料：『辞令（文部大臣就任）』『憲法試草甲案』『憲法草案乙案』『逐条意見』『日本帝国憲法草案』など 26 点

「学びへの誘い」は、國學院大學が所有する学術資産の内から、古典籍を中心に展示会を開催し、地域との文化的な融合を図ることを目的として平成 17 年より東京・札幌・新潟、松本などで実施しています。

取材などについては、広報課（担当：高次）までご連絡ください。

